

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曽地域のブランドPR事業
事業主体 (連絡先)	木曽広域連合 地域振興課 (0264-23-1050)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,139,257円(うち支援金:2,511,000円)

事業内容

長野県関係では当木曽地域を含めて2地域が選定されているのみである日本遺産という希少なブランドを、訪れた観光客にアピールすることで観光地としての魅力アップを図るとともに、通過する観光客へも木曽へ立ち寄るきっかけにつながるように、視覚的にPRする狙いで、木曽広域の圏域誘導サイン及び圏域案内サインへ日本遺産PR板を設置するとともに、公用車や地域バス、タクシーに貼るためのマグネット式日本遺産PRステッカーを作成し、木曽郡内町村及びバス・タクシー会社の協力を得て活用していただいた。



【日本遺産ロゴマークPR】

【目標・ねらい】

日本遺産ロゴマークを、郡外から木曽路へ訪れる人や地元住民に視覚的にアピールし、興味をひくことにより、日本遺産の認知度を高める。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

木曽郡及び塩尻市内の木曽圏域誘導サイン支柱及び案内サイン(マップ)に日本遺産ロゴマークPR板を、郡内のバス・タクシー、町村公用車へステッカーを設置することで、地域住民及び観光客等の興味を引く事ができた。

※自己評価【B】

【理由】

大勢の目に触れ、日本遺産への意識が高まった。バス・タクシー業者にも日本遺産を再認識してもらえた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も継続して日本遺産に認定されている「木曽地域」をPRしていくとともに、日本遺産を活かした事業展開を検討し、実施していく。

日本遺産ポータルサイトの充実を図る。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある